

# 令和5年度 第1回新潟県SDGs推進本部会議

日時 令和5年9月12日（火）

場所 庁議室

## 次 第

1 開会

2 議題

新潟県版SDGsローカル指標について

3 閉会

# 新潟県版SDGsローカル指標

ゴール	新潟県版ローカル指標	現状値	中間目標 2027年度	目標値 2030年度
 2 飢餓をゼロに	農業産出額等	2,366億円 (2021年)	2,854億円	2,938億円
 3 すべての人に健康と福祉を	健康寿命の延伸	男性 72.61歳 女性 75.68歳 (2019年)	健康寿命の伸びが平均 寿命の伸びを上回る	健康寿命の伸びが平均寿 命の伸びを上回る
 4 質の高い教育をみんなに	CEFR A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒数の割合（中学生）	県全体で43.9% (2022年度)	県全体で65%超	県全体で80%超
	一人当たりの社会教育関係施設利用回数	2.46回/人 (2020年度)	4.20回/人	4.50回/人
 5 ジェンダー平等を実現しよう	男性の育児休業および育児のための特別休暇取得率	39% (2022年度)	71%	80%
	管理・監督的業務に従事する者に占める女性の割合	16.4% (2022年度)	24%	24%
	所定内賃金の男女格差	78.6% (2022年度)	縮小	縮小
 6 安全な水とトイレを世界中に	汚水処理人口普及率	89.7% (2022年度)	92.9%	94.0%
	公共用水域の水質汚濁に係る環境基準達成率（健康項目）	100% (2022年度)	100%	100%
	公共用水域の水質汚濁に係る環境基準達成率（BOD・COD）	96.0% (2022年度)	増加させる	増加させる
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	県内需要電力量に対する再生可能エネルギー発電電力量の割合	47.8% (2019～2020年度平均)	56.1%	61.0%
 8 働きがいも経済成長も	1人当たり県民所得	278.4万円 (2020年度)	309.4万円	318.8万円
	一般労働者の年間総実労働時間（規模5人以上）	1,957.2時間 (2022年度)	1,949時間	1,940時間未満
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	成長産業分野における製造業1人当たり付加価値額	1,079万円 (2020年度)	1,102万円	1,135万円
	温室効果ガス排出量	2,180万t（速報値、森林吸収込） 基準年（2013年度）比 23%削減 (2020年度)	2030年度に基準年 (2013年度）比46%削減	基準年（2013年度）比 46%削減
 11 住み続けられるまちづくりを	①県内鉄道における旅客輸送人員 ②乗合バス事業の輸送人員	①43,726万人 (2021年度) ②39,739千人 (2021年度)	対前年度比で維持する	対前年度比で維持する
	災害や危機に対し、自ら対策を講じている県民の割合	68.2% (2022年度)	85.0%	85.0%
 12 つくる責任つかう責任	①一般廃棄物再生利用率 ②産業廃棄物再生利用率	①21.7% (2020年度) ②42.4% (2018年度)	①28.0%以上 ②43.3%以上	①28.0%以上 ②43.3%以上
 13 気候変動に具体的な対策を	温室効果ガス排出量	2,180万t（速報値、森林吸収込） 基準年（2013年度）比 23%削減 (2020年度)	2030年度に基準年 (2013年度）比46%削減	基準年（2013年度）比 46%削減
 14 海の豊かさを守ろう	漁業生産額	62.6億円 (2020年)	103億円	106億円
 15 陸の豊かさを守ろう	自然公園・自然環境保全地域等の面積割合	372,035ha (29.6%) (2022年度)	375,063ha (29.8%)	377,335ha (30.0%)

[現時点で指標の設定が困難なゴール] ※総合計画の改定時（R6）に改めて検討



貧困をなくそう



人や国の不平等をなくそう



平和と公正をすべての人に



パートナーシップで目標を達成しよう